

中学生、高校生が作る

中学生、高校生のための居場所！

2023年6月1日発行 ジャンプ編集部

6月

【住所】豊島区长崎 2-24-13 【電話】03-3972-0035

【開館時間】<月~金>午前10時~午後8時

(中学生は午後7時まで)

<土・日>午前10時~午後6時

【休館日】 祝日、年末年始、振替休日



← ホームページ

※イベントは予告なく変更することがあります。



メルマガ登録↑

イカしたジャンプ長崎に

アカなイカ!?

豊島区子どもの権利擁護委員 山下弁護士

6月29日(木) 午後5時~7時

弁護士さんとお話ができる

レアなチャンス♪

山下先生のブログは二次元コードから！



法律の雑談はイカが？

中高生なら誰でも参加できる 利用者会議

6月24日(土) 午後3時30分~

ああしてほしい、コナなことシテミタイ！が叶うかも？！

君も参加してみてもイカが？

Jsカフェ 【チョコクッキー】

6月1日(木) から 材料がなくなるまで☆

材料2つで、簡単においしいクッキーのできあがり☆

(まだの人は)クッキングスタジオ講習を受けようではなイカ!!

長崎獅子舞 練習日

6月28日(水) 午後5時~6時

観ているだけじゃつまらない！

君も一緒に舞ってみなイカ？！

参加者絶賛募集中(> <)。♡

裏も必見！

このおたよりのなかに、【イカ】の文字はいくつあるかな？！数えてみなイカ？

ふろく抽選

毎月19日締切

⇒20日抽選

イカしたふろくの

ゲットちゃんす！

スラックライン

6月17日(土)

午後2時~4時

5cm幅のラインの

上に立ってみよう♪

君も気軽に挑戦して

みなイカ？



利用の制限はあるけれど、ジャンプって小4から使えるって知っていたカイ？！

ビジュアルワーク

6月7日(水)・21日(水) 午後4時~6時

好きな写真や絵を切り張りして作るピクチャーアート

砂を自由に造形し自分の世界を表現するサンドピクチャー

この機会にぜひどうぞ

幼児さん向けプログラム つくっちゃお！

【フェルトのキーホルダー】

6月1日(木) から(毎日 午前10時~午後3時頃)

お子さんひとりにつき 1回作れます。

アシスとしまとトークしよう

6月14日(水)午後5時~6時

6月28日(水)午後4時~5時

アシスとしまのスタッフが来館します。

なんでも気軽に相談しちゃお♪

ふおーていー

6月21日(水) 午後4時30分~6時30分

東京都が設置した HIV/AIDS に関する情報ラウンジです。

エイズや性感染症について話や相談をすることができます。

5月14日(日) 第五回長崎獅子舞の道行・奉納当日。勇ましい獅子の頭を被り、長崎の若者が力強く大地を踏みしめる。長崎神社の境内には、あふれんばかりの人人人。そんな中、堂々と舞いきった若者たちの素顔に触れてみる。

ジャンプ長崎の卒業生の中に、**長崎獅子舞の継承**に力を注いでいる若者がいる。仕事やプライベートが忙しい中、祭りに向けて時間をやりくりし、獅子舞の後継者を育てるために都合をつけてくれていた。そんな山岸氏が獅子舞に抱く想い。それは「自分は長崎獅子舞の伝統の中で經由地である」という気概だ。自分の持っているものを、次の世代へ**繋いで**いきたいという想い。

ジャンプ長崎も同じ気持ちで、中高生と卒業生、そして地域と若者を繋ぐ役割を果たしている。



時は少し遡り、4月18日(火)私立**城西高校**では新入生勧誘企画の一環として、長崎獅子舞体験会を実施した。昨年度より、城西高校獅子舞研究会と「ゼミ・マイプロジェクト」長崎獅子舞、お祭りを盛り上げたい」の方が**地域と連携**し、獅子舞イベントに参加している。当日は生徒会バックアップの中、獅子舞を披露し、その後体験会を行った。

最初は試しに…だった若者が、練習を重ねるうちに獅子に魅了され、ぐんぐん上達していく。

祭礼当日。獅子頭を被り緊張の中、勇ましく舞ってみせた。彼らもまた、伝統を受け継いでゆく者のひとりとなってくれるだろう。

長崎獅子舞

の地に



祭礼当日、自粛が続いたこの2年のうっぶんを晴らすかのよう
に、長崎の若人は堂々と神々しく舞い踊った。これを観た人々の中で、「**自分も獅子舞をやってみたい**」と思った人が、ひとりでもいてくれたならうれしい。

ジャンプ長崎は、この地の若者たちが獅子舞をとおして成長し、つながっていきける数少ない場所のひとつだ。そんな居場所を提供できる幸せをかみしめつつ、これからも彼らの**経由地**として、ひたむきに獅子舞に取り組む若者を、応援していきたい。

祭礼に向け、ジャンプ長崎で繰り返された練習の日々。限られた時間の中、先輩たちの舞や太鼓の技を少しでも吸収し、自分のものにしようと真剣な面持ちの中高生たち。そんな中高生だが、実はどこにでもある、ごく**普通**の今どきの若者たちだ。おしゃべりが大好きで、仲間と戯れたりスマホをいじったり、ギリギリまでパンをかじっていたり…一見、大丈夫かなあ？と心配になるが、笛の音・太鼓の響きで**スイッチが入る**のがわかる。目の色が変わる。指先まで集中しているのを感じる。そんな彼らに対して先輩は、まず良い部分を褒め、次に改善するとよりよくなることを指摘する。伝統が受け継がれる、そして**絆**が繋がるとは、こういうことなのかと、改めて実感した。